

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●福島では戸崎騎手、中京では松山騎手がリーディング獲得

7月23日(日)をもって2回福島競馬ならびに3回中京競馬が終了しました。福島では15勝をあげた戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)が開催リーディングジョッキーを獲得。中京では13勝をあげた松山弘平騎手(栗東・フリー)が開催リーディングジョッキーに輝いています。

### ●横山和生騎手がシャーガーカップに出場

8月12日(土)にイギリス・アスコット競馬場で開催される「ドバイデューティフリー シャーガーカップ」に横山和生騎手(美浦・フリー)が出場することとなりました。同レースは世界のトップジョッキー12名がヨーロッパ選抜、女性騎手選抜、世界選抜、イギリス・アイルランド選抜に分かれて成績を競うチーム対抗戦で、横山騎手はC. ホー騎手(香港)、J. モレイラ騎手(ブラジル)とともに世界選抜チームの一員として出場します。

### ●ジョッキーベイビーズ沖縄地区代表が決定

7月9日(日)、沖縄県北中城村の中城公園で「第13回ジョッキーベイビーズ」の沖縄地区代表選考会が実施され、岡村真花さん(小学6年生/美原乗馬クラブ)が地区代表に決定しました。なお「第13回ジョッキーベイビーズ」決勝大会は、10月8日(日)に東京競馬場で開催される予定です。

### ●ファストフォース、ジャスティンの競走馬登録抹消

2023年高松宮記念(G I)などの勝ち馬ファストフォース(牡7歳/栗東・西村真幸厩舎/JRA通算25戦4勝)と、2020年東京盃(大井・Jpn II)などの勝ち馬ジャスティン(牡7歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算22戦7勝・地方7戦2勝・海外4戦0勝)は、6月8日(木)付で競走馬登録を抹消されました。ファストフォースは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、ジャスティンは地方・大井競馬に移籍する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●盛岡芝のオパールCはラビュリントス【各地の主要3歳重賞】

オパールC(7月9日、盛岡、芝1700<sup>㍍</sup>)は、逃げた単勝1.8倍で断然人気の川崎からの遠征馬ラビュリントス(牝、父キンシャサノキセキ)が後続を4馬身引き離し、盛岡の芝では北海道在籍時のジュニアグランプリに次ぐ2勝目となりました。佐賀ユースC(6月25日、佐賀、1400<sup>㍍</sup>)は、5番手前後から差を詰めた1番人気の九州ダービー栄城賞2着馬ブレイブアモーレ(牡、父バンブーエール)がゴール前で差し切り勝ち。優勝スプリント(6月27日、大井、1200<sup>㍍</sup>)は、3番手を進んだ3番人気のフジコチャン(牝、父エスポワールシチー)が残り100<sup>㍍</sup>で抜け出し、重賞初制覇を果たしました。加賀友禅賞(7月9日、金沢、1400<sup>㍍</sup>、牝馬)は、3番手から3コーナーで先頭に立ったショウガタプリ(父エスポワールシチー)が2馬身半差で楽勝し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応じてデビュー以来11連勝。岩手のオークスに相当するひまわり賞(7月11日、盛岡、1800<sup>㍍</sup>、牝馬)は、先手を取った単勝1.1倍で圧倒的人気のミニアチュール(父ラブリーデイ)が2着に1秒9の大差を付け、重賞6連勝を飾っています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛オークス～セーブザラストダンスが差し切る

現地7月22日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛オークス(3歳牝、芝2400<sup>㍍</sup>)は、R. ムーア騎手を背に3番手でレースを進めたセーブザラストダンス(牝3歳、父ガリレオ)が最後の200<sup>㍍</sup>で鋭く伸びて優勝しました。半馬身差の2着にG2リブルスデイルS3着のブルーストッキング。勝ったセーブザラストダンスは父が英愛チャンピオンサイヤー12回のガリレオで、母はG1アメリカンオークスを制したダディーズリルダーリンという良血。5月のチェシャーオークス(L、芝2270<sup>㍍</sup>)を22馬身差で大勝して臨んだ前走6月のG1英オークスは2着でしたが、地元のオークスで大きな勲章を手に入れました。ムーア騎手はこのレース3勝目。管理するA. オブライエン調教師は新記録となる7勝目です。

### ●G1ハスケルS～ゴーロケットライドがG1初制覇

アメリカ・ニュージャージー州のモンマスパーク競馬場で7月22日に行われたG1ハスケルS(3歳、ダート1800<sup>㍍</sup>)は、M. スミス騎手の手綱で中団につけたゴーロケットライド(牡3歳、父キャンディライド、R. マンデラ厩舎)が最終コーナーで先頭に立つと、ケンタッキーダービー馬メイジを1馬身3/4差しりぞけて優勝しました。ゴーロケットライドは今年1月のデビュー戦(ダート1200<sup>㍍</sup>)で勝利し、続く3月のG2サンフェリペSは2着。その後4月のG1サントアナダービーを熱発で取り消して迎えた前走6月のアフアムドS(L、ダート1700<sup>㍍</sup>)を制していました。